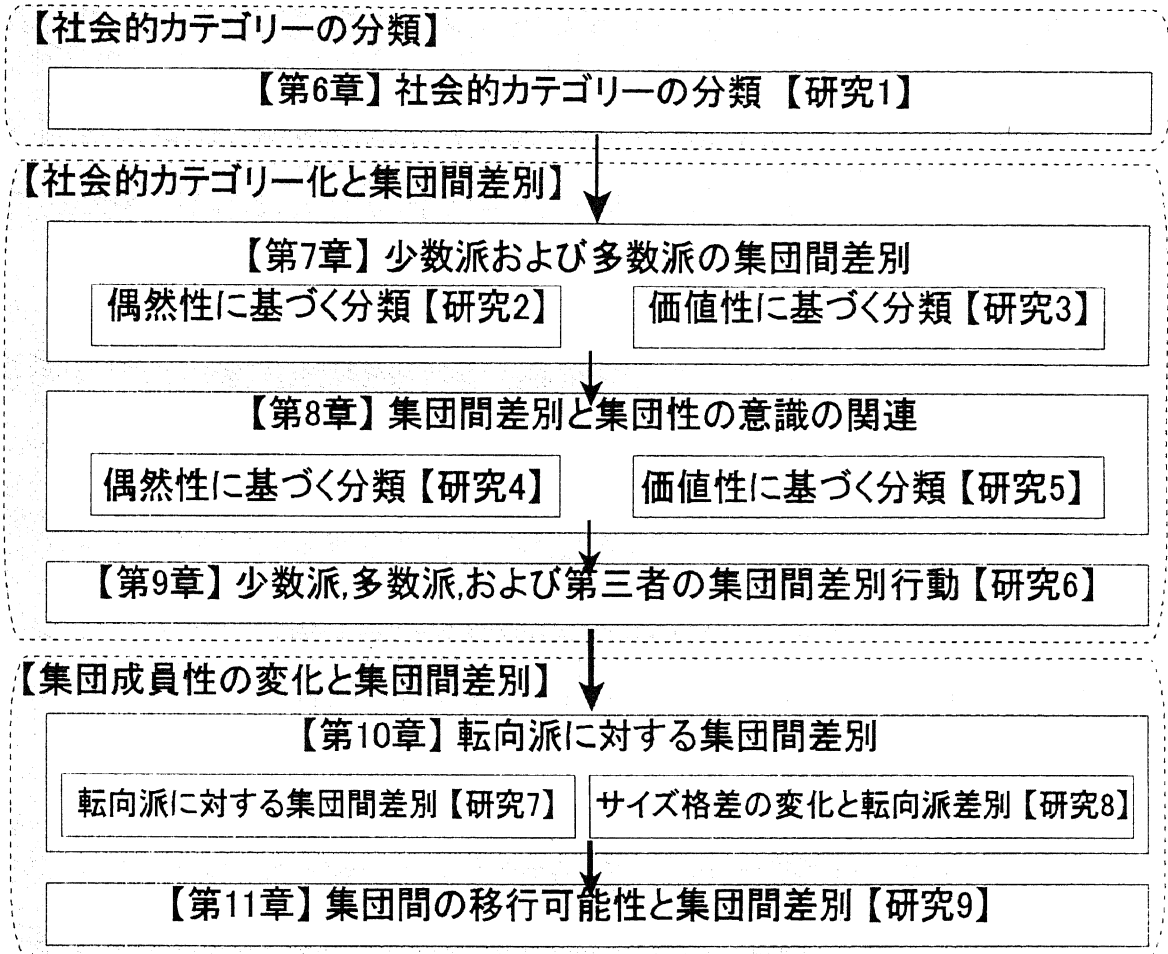


第Ⅱ部 実証研究



実証研究は、5章から構成される。第6章では、多様な社会的カテゴリーを分類・類型化することを試みる。第7章では、少数派および多数派の集団間差別行動を社会的カテゴリー化基準の違いをふまえて検討する。第8章では、集団性の意識の程度を測定し、集団間差別行動との関連性を検討する。第9章では、集団性の意識の問題を、第三者の集団間認知および行動との比較によってさらに検討する。第10章では、集団成員性の変化の問題の中でも、態度を変化させた転向派に対する差別行動を検討する。第11章では、集団間の移行可能性が、少数派および多数派の集団間差別行動に及ぼす影響について検討する。

第6章 社会的カテゴリーの分類

第6章では、日常的に見られる多様な社会的カテゴリー(社会集団)を性質および機能の観点から多次的に分析し、社会的カテゴリーの類型化を試みる(研究1)。

6.1 社会的カテゴリーの分類【研究1】¹

最小条件集団研究(Tajfel et al.,1971)が明らかにしたのは、単なる集団へのカテゴリー化が内集団びいき—外集団差別の十分条件である、ということである。そして、点の数の推定傾向や抽象画の嗜好などの「ささいな」基準による社会的カテゴリー(社会集団)が、民族や職業のようなカテゴリーと同じように、社会的アイデンティティを構成し、集団間差別を生み出すことを示してきた。現実の世界では、多種多様な社会的カテゴリーが幾重にも重なり合い、世界を構成している。それゆえに、社会的カテゴリーの種類の違いによって、集団性の意識や集団間行動が変化することが予測される。にもかかわらず、社会的カテゴリーが持つ質的差異の検討や、カテゴリー化基準の違いと集団間差別の関連性の検討および議論は、十分に行われていない。同様の指摘はBrown(1988, 黒川他訳, 1993)にも見られる。集団成員性は個人の自己概念に直接的に貢献するだけでなく、さまざまな社会的解釈・イデオロギーなどを提供する。Brown(1988, 黒川他訳, 1993)は、それらもまた現実の集団間態度および行動に影響を及ぼすと論じ、社会的カテゴリーの性質や内容の分析の必要性を主張した。

¹ 久保田健市・堀 洋道 2000. 社会的カテゴリーの多次的分析 筑波大学心理学研究, 22 (印刷中)

そこで、研究1では、多様な社会的カテゴリーを性質および機能の観点から多次的に分析し、社会的カテゴリーの類型化を試みる。これは、社会的カテゴリーの性質と集団間差別の関連性を検討する予備的分析と位置づけられる。調査を行うにあたり、われわれがどのような基本的次元から社会的カテゴリーを知覚しているかについて明確な仮説を設定することはできない。しかし、想定される基本的次元として、社会的有意義性と移行可能性の2つを挙げることができる。社会的有意義性とは、芸術やファッションの嗜好性のように、社会的カテゴリーが個人的な価値や属性を反映するにすぎないのか、それとも、社会問題に対する態度や民族性のように、社会的に意味あるものとして成員の価値観や行動様式などと結びついているかを表す。いわば、社会的有意義性は、社会的カテゴリーが単なる人々の分類以上のものであることを表すため重要である。一方、社会的アイデンティティ理論では、移行可能性の次元を個人の自己概念と社会的アイデンティティの関係および集団間行動の性質を決定する重要な要因とみなしている(Tajfel & Turner, 1979)。すなわち、第3章第5節で述べたように、集団成員性の変更が可能な社会的カテゴリーの領域では、高い自尊心を達成するように、自身の社会的カテゴリー(社会的アイデンティティ)を選択することができる。そのため、これらの社会的アイデンティティに関連して、集団間差別は見られにくい。これに対し、他のカテゴリーへの移行が困難な社会的カテゴリーでは、社会的カテゴリーの評価と自己評価から切り離すことができないため、集団間差別を示しやすくなると考えられる。

目 的

研究1では、多様な社会的カテゴリー(社会集団)を性質および機能の観点から多次的に分析し、社会的カテゴリーを類型化することを目的とする。調査

を行うにあたり、仮説的な枠組みとして、社会的有意味性(高/低)×移行可能性(有/無)の4類型を設定し、それらの類型にあてはまる社会的カテゴリーの性質を分析する。

方 法

調査対象 筑波大学学生203人(男子94人,女子109人)。

社会的カテゴリー まず、社会的カテゴリーを分類する基本的次元として考えられた社会的有意味性と移行可能性の2次元によって、仮説的に4類型を設定した。そして、4類型のいずれか、あるいは、複数の類型にあてはまり、かつ、大学生がイメージしやすいと思われる16個の社会的カテゴリーを選択した。選択された社会的カテゴリーは、次のとおりである。

1. 社会的有意味性高—移行可能性高

(d)信仰している宗教・宗派. (e)男女の役割の違いに対する態度.
(m)環境問題に対する態度. (r)支持している政党

2. 社会的有意味性高—移行可能性低

(a)加盟しているサークル. (g)出身地. (i)国籍あるいは民族. (k)専攻している学問.

3. 社会的有意味性低—移行可能性高

(b)余暇の楽しみ方. (j)ファッションの感覚. (l)音楽や読む本の好み.
(q)尊敬する人物の違い.

4. 社会的有意味性低—移行可能性低

(f)利き腕の違い. (h)血液型. (n)体型. (p)肌の色.

さらに、無作為なカテゴリーとして「(c)くじ引き」と「(o)学籍番号」を加え、計18個の社会的カテゴリーを用いた(Table 6.1)。

Table 6.1
Hypothesized classification of social categories

Social Significance	Permeability of Group Boundary	
	Easy	Difficult
High (Social)	<i>Social Values, etc.</i> d. Religion e. Attitude to Sex Role m. Attitude to Environmental Problem r. Support Political Party	<i>Community, etc.</i> a. Student Club g. Home Town i. Nationality or Ethnicity k. Major Subject
Low (Personal)	<i>Interest, Liking, etc.</i> b. Way of Enjoying Leisure j. Fashion Sense l. Liking to Music or Book q. Person whom You Respect	<i>Physical Characteristics, Ability, etc.</i> f. The Dominant Hand h. Blood Type n. Figure p. Color of the Skin
<i>Arbitrary Social Category</i>		
c. ID Number, o. Lottery		

評定項目 Deutsch(1973)が集団を定義づける特徴として取り上げた7個の属性をもとに,新たな項目を加え10項目を用いた. 具体的には,次のとおりである.

1. グループのメンバーに共通するものの考え方や価値観がある.
2. グループの間に,何らかの優劣の差が存在する.
3. できたグループは,一時的な意味しか持たない.
4. グループは個人の関心や価値観を反映している.
5. グループの中にメンバーが守るべきルールがある.

6. あてはまるグループが一度決まってしまうと、後で個人の意志で変えるのは難しい。

7. できたグループや分類基準を日常の生活の中で意識することがよくある。

8. 日ごろから、グループのメンバーと一緒にあって、何らかの活動をしている。

9. グループとメンバーの性格・気性の間にほとんど関連はない。

0. グループの中に地位の差や役割関係がある。

手続き 調査は、授業時間を用いて集合形式で行われた。被験者は、提示された社会的カテゴリーに従って、筑波大学の学生全体を分類したところを想像し、できあがったグループが評定項目の内容にあてはまるか否かを二値形式で回答した（「あてはまる：1、あてはまらない：0」）。

結 果

全体の反応頻度が、 $\pm 3SD$ の範囲を超えて極端に多かった、あるいは、少なかった10人の回答は、分析から除外された。

全体($N=193$)の反応頻度について、カテゴリー基準 \times 項目のクロス集計を行った結果をTable 6.2.aおよびTable 6.2.bに示す(単位は%)。次に、クロス表に基づく数量化Ⅲ類(双対尺度法)を行った。得られた成分のうち、解釈可能な成分2までの重み係数をTable 6.3に示す。固有値は、成分1が.362(説明率67.88%)、成分2が.104(19.55%)であった。また、成分1を横軸、成分2を縦軸とし、重み係数を2次元平面上にプロットしたものをFigure 6.1に示す(英字は社会的カテゴリーを、数字は評定項目をそれぞれ表す)。

成分1は、「くじ引き」「学籍番号」「利き腕」のような社会的カテゴリーと「一時的」「性格無関連」といった項目が高い正の値を示し、「サークル」「環境問題態度」や「地位・役割」「相互作用」「個人の関心」などが高い負の値を示した。す

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

Table 6.2.a
Frequencies of response by category criterion by items

	1 Common Value	2 Inter-category Dominance	3 Temporary Category	4 Individual Interests	5 Rule
a Club	68.39	53.89	7.77	66.84	54.92
b Way of Enjoying Leisure	65.80	6.22	22.80	77.20	12.44
c ID Number	2.59	5.70	78.24	2.59	5.18
d Religion	83.94	26.94	2.59	67.88	66.84
e Attitude to Sex Role	61.66	20.73	10.88	67.36	14.51
f The Dominant Hand	1.55	9.84	59.07	1.04	2.59
g Home Town	36.27	11.92	35.23	5.18	2.07
h Blood Type	8.81	3.11	62.18	1.55	0.52
i Major Subject	77.72	27.46	9.33	74.09	7.25
j Fashion Sense	65.80	23.83	38.34	70.47	4.66
k Nationality	58.03	23.83	8.81	25.91	45.08
l Liking to Music	76.68	3.63	16.06	74.09	3.63
m Environmental Problem	75.65	5.70	9.33	66.84	18.13
n Figure	4.66	38.86	54.40	3.11	2.07
o Lottery	0.52	8.29	78.24	1.55	6.22
p Color of the Skin	6.74	17.10	44.04	3.11	4.15
q Person whom You Respect	64.77	5.70	17.62	68.91	3.11
r Support Political Party	75.65	15.03	13.99	66.32	26.94

N=193. (Unit: %)

(This tables is continued on next page)

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

Table 6.2.b

Frequencies of response by category criterion by items

	6 Difficult to change	7 Familiar Category	8 Interaction	9 No Relation to Members' Character	0 Status and Role
a Club	37.82	60.62	86.53	24.87	73.06
b Way of Enjoying Leisure	7.77	27.46	44.56	17.10	5.18
c ID Number	32.64	6.74	3.11	78.76	2.59
d Religion	54.40	57.51	46.11	20.73	54.92
e Attitude to Sex Role	12.44	25.91	5.70	18.13	12.95
f The Dominant Hand	30.05	13.99	1.55	71.50	2.07
g Home Town	39.90	28.50	10.88	59.07	4.66
h Blood Type	36.27	13.99	1.04	60.62	0.52
i Major Subject	22.80	51.81	55.96	32.12	17.10
j Fashion Sense	6.74	39.38	18.13	23.32	2.07
k Nationality	49.74	43.01	30.05	34.72	29.53
l Liking to Music	3.63	24.87	27.98	22.80	2.07
m Environmental Problem	11.40	19.17	23.32	23.32	9.33
n Figure	24.87	26.94	2.07	61.66	5.70
o Lottery	24.35	2.07	1.55	79.79	2.07
p Color of the Skin	36.27	17.62	4.66	68.39	4.15
q Person whom You Respect	7.25	13.99	6.22	29.02	2.59
r Support Political Party	28.50	26.42	31.09	23.83	38.34

N=193. (Unit: %)

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

Table 6.3
Category Weights in Component 1 and 2

Criterion	Component 1	Component 2	Item	Component 1	Component 2
a Student Club	-0.75	1.42	1 Common Value	-0.80	-0.85
b Way of Enjoying Leisure	-0.69	-1.06	2 Inter-category Dominance	0.02	0.89
c ID Number	1.88	-0.13	3 Temporary Category	1.72	-0.59
d Religion	-0.74	1.22	4 Individual Interests	-0.94	-1.32
e Attitude to Sex Role	-0.63	-0.69	5 Rule	-0.75	1.86
f The Dominant Hand	1.77	0.05	6 Difficult to Change	0.68	0.98
g Home Town	0.78	0.11	7 Familiar Category	-0.30	0.27
h Blood Type	1.75	-0.19	8 Interaction	-0.88	0.47
i Major Subject	-0.63	-0.31	9 No Relation to Members' Character	1.33	-0.17
j Fashion Sense	-0.28	-1.22	0 Status & Role	-0.82	2.14
k Nationality	-0.35	1.32	Eigen Value	0.36	0.10
l Liking to Music	-0.70	-1.68	PCT of Variance	67.9	19.6
m Environmental Problem	-0.74	-0.90	χ^2	4431.14	1086.04
n Figure	1.27	0.46	df	25	23
o Lottery	2.01	-0.20	$p <$	0.001	0.001
p Color of the Skin	1.35	0.41			
q Person whom You Respect	-0.43	-1.85			
r Support Political Party	-0.65	0.28			

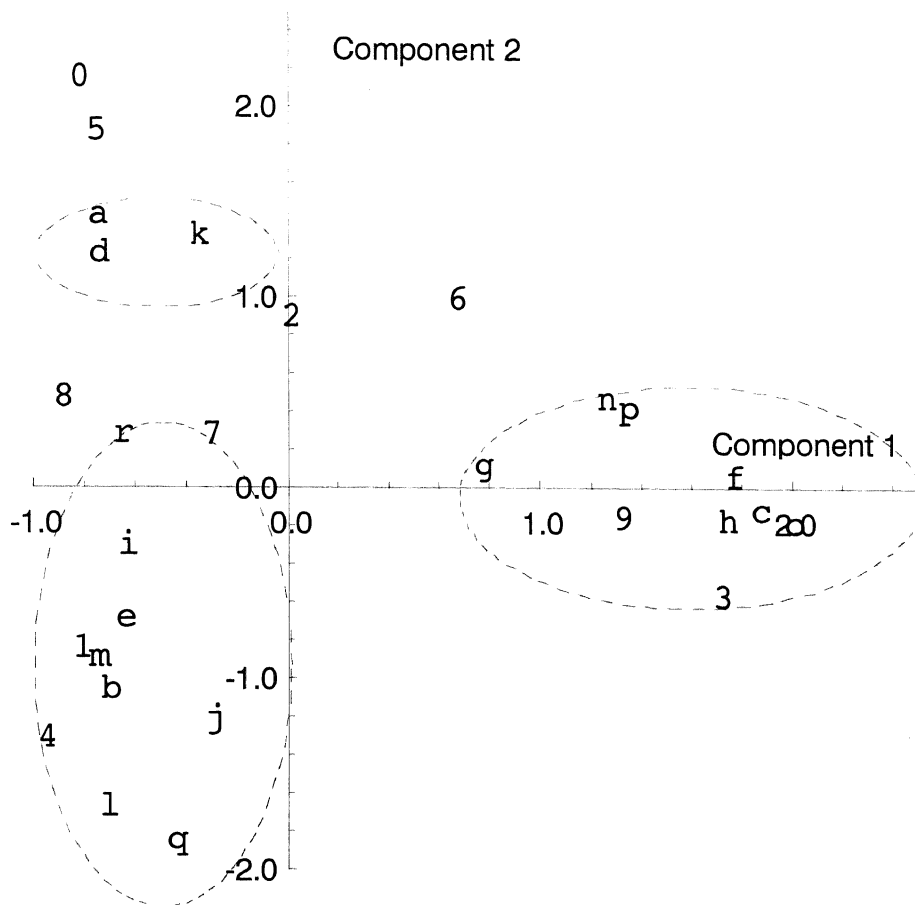


Figure 6.1 Category weight coefficients on component 1 and 2

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| a. Student Club | k. Nationality | 1. Common Value |
| b. Way of Enjoying Leisure | l. Liking to Music | 2. Inter-category Dominance |
| c. ID Number | m. Environmental Problem | 3. Temporary Category |
| d. Religion | n. Figure | 4. Individual Interests |
| e. Attitude to Sex Role | o. Lottery | 5. Rule |
| f. The Dominant Hand | p. Color of the Skin | 6. Difficult to Change |
| g. Home Town | q. Person whom You Respect | 7. Familiar Category |
| h. Blood Type | r. Support Political Party | 8. Interaction |
| i. Major Subject | | 9. No Relation to Members' Character |
| j. Fashion Sense | | 0. Status & Role |

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

なわち,成分1は,単なるコード(符号)によって形成された社会的カテゴリーであり,それ以上の社会的な意味を特に持たないものと,地位や役割の分化や共通の関心・価値観など集団としての特徴あるいは意味を付与されている社会的カテゴリーが対極に配置される次元である.したがって,成分1は「有意味性」(significance)の次元と解釈された.成分2では,「サークル」「国籍・民族」や「地位・役割」「ルール存在」などで高い正の値を示し,「尊敬する人物」「音楽・本の好み」や「個人の関心」「共通価値観」が高い負の値を示した.以上より,成分2では地位や役割の分化および集団規範の存在する社会的カテゴリーと価値観や個人的な関心事の類似性に基づく社会的カテゴリーが対となっていると解釈される.そのため,「組織—個人の選好」(organization/preference)の次元と命名された.

さらに,18個の社会的カテゴリーに関し,成分1と成分2の重み係数を用いて,ユークリッド距離による群平均法クラスター分析を行った.その結果得られたデンドログラムをFigure 6.2に示す.これを見ると,18個の社会的カテゴリーは3つのクラスターに分類される.第1のクラスターには,「出身地」「体型」「血液型」「学籍番号」「くじ引き」「肌の色」「利き腕」が含まれる.これらは,何らかのコードによる単なる分類であり,一時的でカテゴリー内で成員間の共通性は見られないと知覚されていた.よって,このクラスターは「符号による社会的カテゴリー」を表すものと考えられる.第2のクラスターは,「支持政党」「性役割態度」「ファッションの感覚」「音楽・本の好み」「尊敬する人物」「専攻する学問」「環境問題に対する態度」「余暇の楽しみ方」が含まれる.したがって,個人の態度や価値観・嗜好性などの類似—非類似に基づく社会的カテゴリーの集団と考えられ,「個人の態度・価値観に基づく社会的カテゴリー」(以下では,「価値性に基づく社会的カテゴリー」と略記する)と命名された.第3のクラスターは,「サークル」「宗教・宗派」「国籍・民族」が含まれる.これらは,大まかではあるが,カテゴ

第6章 社会的カテゴリーの分類
6.1 社会的カテゴリーの分類

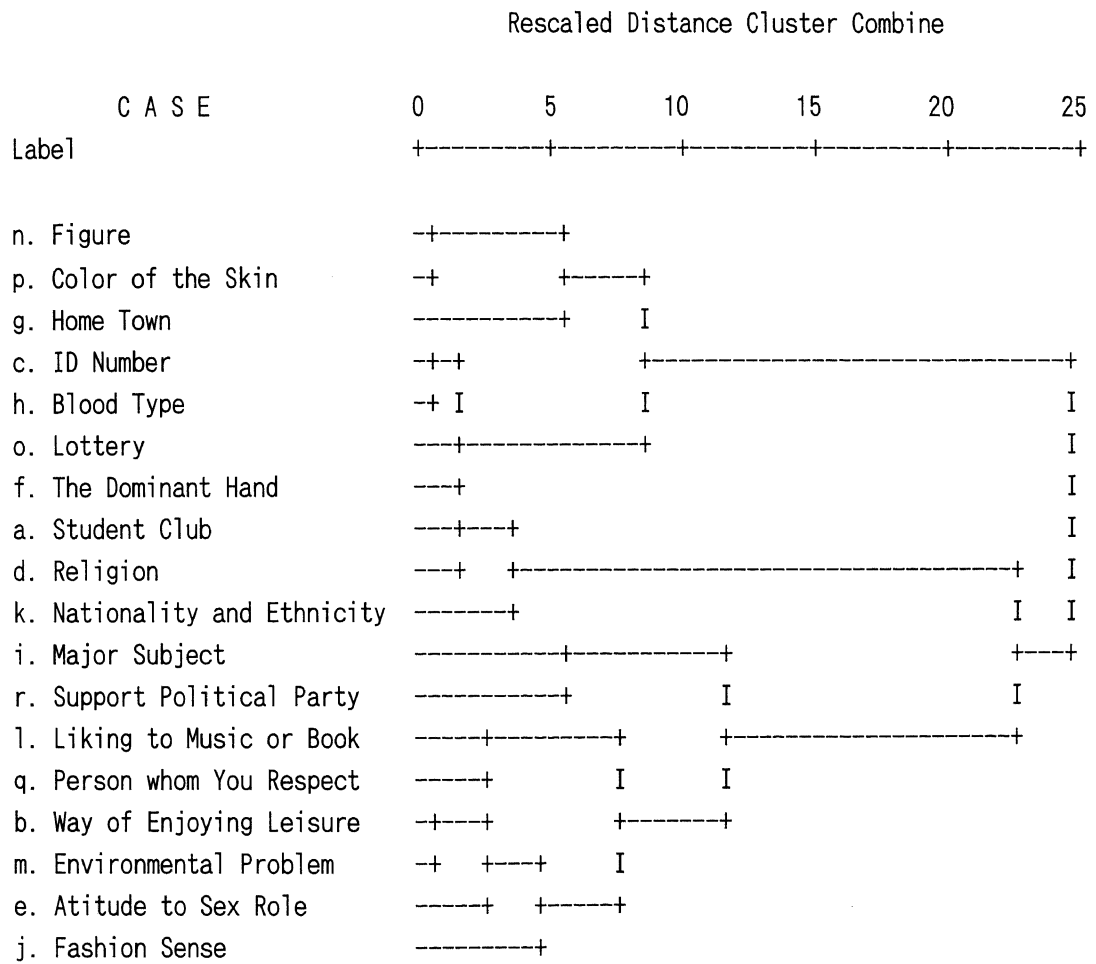


Figure 6.2 Dendrogram by UPGMA clustering

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

リーの中に地位や役割の分化が見られ、ルール(集団規範)も存在していると知覚されており、「組織への所属に基づく社会的カテゴリー」(以下では、「組織による社会的カテゴリー」と略記する)と命名された。

また、調査対象の男女別に、上記の双対尺度法による分析およびクラスター分析を行った。男子のデータに関し($n=91$), 解釈可能な成分2までの重み係数をTable 6.4に、重み係数のプロット図をFigure 6.3に、デンドログラムFigure 6.4に示す。同様に、女子のデータについても($n=102$), 成分2までの重み係数をTable 6.5に、重み係数のプロット図をFigure 6.5に、デンドログラムFigure 6.6に示す。その結果、男子の結果も女子の結果も、ともに「支持政党」が「組織による社会的カテゴリー」に分類されたのを除いて、男女を込みにして分析した場合と同様の解釈が可能な成分およびクラスターが得られた。

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

Table 6.4
Category weight coefficients on Component 1 and 2 for male($n=91$)

Criterion	Component 1	Component 2	Item	Component 1	Component 2
a Student Club	-0.79	1.40	1 Common Value	-0.84	-0.92
b Way of Enjoying Leisure	-0.73	-1.10	2 Inter-category Dominance	0.13	0.98
c ID Number	1.97	-0.22	3 Temporary Category	1.72	-0.58
d Religion	-0.72	1.15	4 Individual Interests	-0.96	-1.30
e Attitude to Sex Role	-0.56	-0.67	5 Rule	-0.86	1.85
f The Dominant Hand	1.68	0.25	6 Difficult to Change	0.67	1.08
g Home Town	0.86	0.18	7 Familiar Category	-0.25	0.32
h Blood Type	1.79	-0.19	8 Interaction	-0.85	0.27
i Major Subject	-0.58	-0.34	9 No Relation to Members' Character	1.28	-0.25
j Fashion Sense	-0.18	-1.21	0 Status & Role	-0.84	1.91
k Nationality	-0.42	1.26	Eigen Value	0.33	0.11
l Liking to Music and Books	-0.63	-1.70	PCT of Variance	65.2	21.5
m Environmental Problem	-0.76	-0.99	χ^2	1821.75	526.06
n Figure	1.21	0.68	df	25	23
o Lottery	2.01	-0.33	$p<$	0.001	0.001
p Color of the Skin	1.37	0.50			
q Person whom You Respect	-0.41	-1.79			
r Support Political Party	-0.66	0.13			

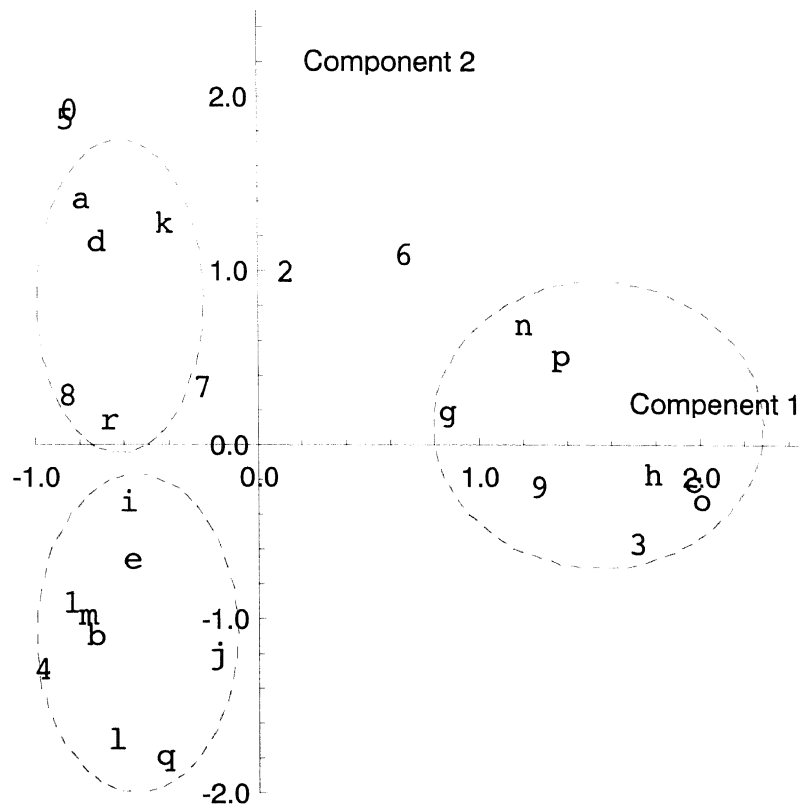


Figure 6.3 Category weight coefficients on component 1 and 2, for male

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| a. Student Club | k. Nationality | 1. Common Value |
| b. Way of Enjoying Leisure | l. Liking to Music | 2. Inter-category Dominance |
| c. ID Number | m. Environmental Problem | 3. Temporary Category |
| d. Religion | n. Figure | 4. Individual Interests |
| e. Attitude to Sex Role | o. Lottery | 5. Rule |
| f. The Dominant Hand | p. Color of the Skin | 6. Difficult to Change |
| g. Home Town | q. Person whom You Respect | 7. Familiar Category |
| h. Blood Type | r. Support Political Party | 8. Interaction |
| i. Major Subject | | 9. No Relation to Members' Character |
| j. Fashion Sense | | 0. Status & Role |

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

Table 6.5
Category weight coefficients on Component 1 and 2 for female($n=102$)

Criterion	Component 1	Component 2	Item	Component 1	Component 2
a Student Club	-0.80	1.57	1 Common Value	-0.76	-0.85
b Way of Enjoying Leisure	-0.66	-1.04	2 Inter-category Dominance	-0.08	0.75
c ID Number	1.81	0.11	3 Temporary Category	1.67	-0.56
d Religion	-0.80	1.08	4 Individual Interests	-0.86	-1.33
e Attitude to Sex Role	-0.68	-0.74	5 Rule	-0.81	2.03
f The Dominant Hand	1.88	0.06	6 Difficult to Change	0.68	0.86
g Home Town	0.72	0.05	7 Familiar Category	-0.32	0.15
h Blood Type	1.72	-0.07	8 Interaction	-0.93	0.51
i Major Subject	-0.66	-0.40	9 No Relation to Members' Character	1.41	0.06
j Fashion Sense	0.00	-1.26	0 Status & Role	-0.87	2.06
k Nationality	-0.32	1.22	Eigen Value	0.39	0.12
l Liking to Music and Books	-0.73	-1.64	PCT of Variance	66.4	20.3
m Environmental Problem	-0.72	-0.85	χ^2	2595.33	667.49
n Figure	1.32	0.33	df	25	23
o Lottery	1.92	0.00	$p<$	0.001	0.001
p Color of the Skin	1.35	0.41			
q Person whom You Respect	-0.41	-1.81			
r Support Political Party	-0.65	0.24			

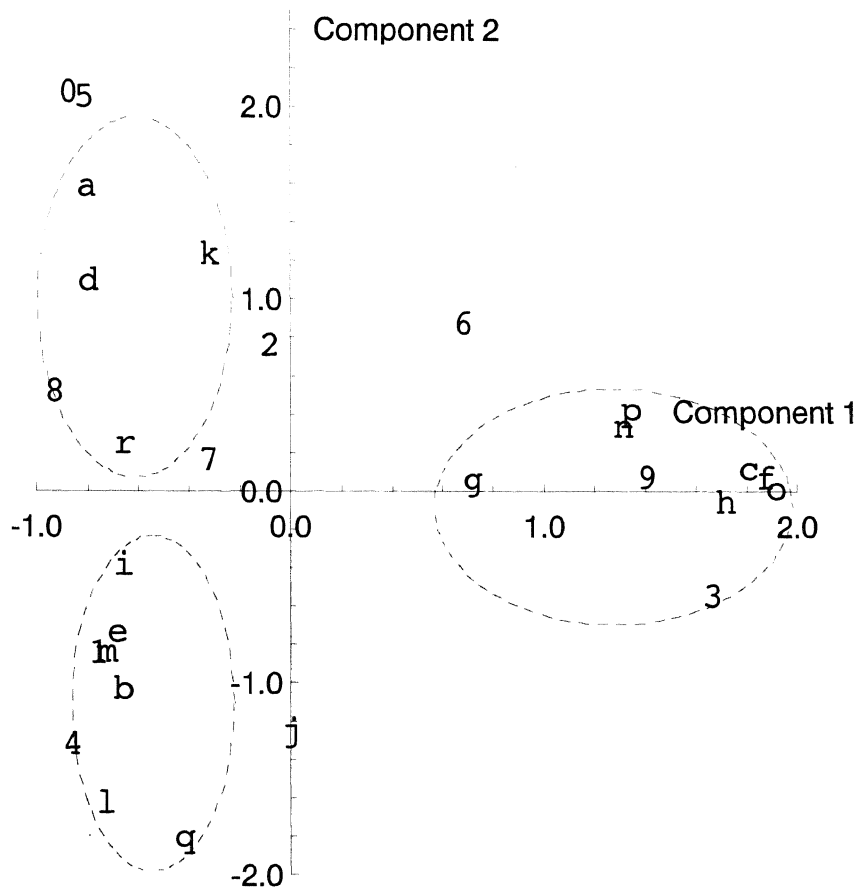


Figure 6.5 Category weight coefficients on component 1 and 2, for female

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| a. Student Club | k. Nationality | 1. Common Value |
| b. Way of Enjoying Leisure | l. Liking to Music | 2. Inter-category Dominance |
| c. ID Number | m. Environmental Problem | 3. Temporary Category |
| d. Religion | n. Figure | 4. Individual Interests |
| e. Attitude to Sex Role | o. Lottery | 5. Rule |
| f. The Dominant Hand | p. Color of the Skin | 6. Difficult to Change |
| g. Home Town | q. Person whom You Respect | 7. Familiar Category |
| h. Blood Type | r. Support Political Party | 8. Interaction |
| i. Major Subject | | 9. No Relation to Members' Character |
| j. Fashion Sense | | 0. Status & Role |

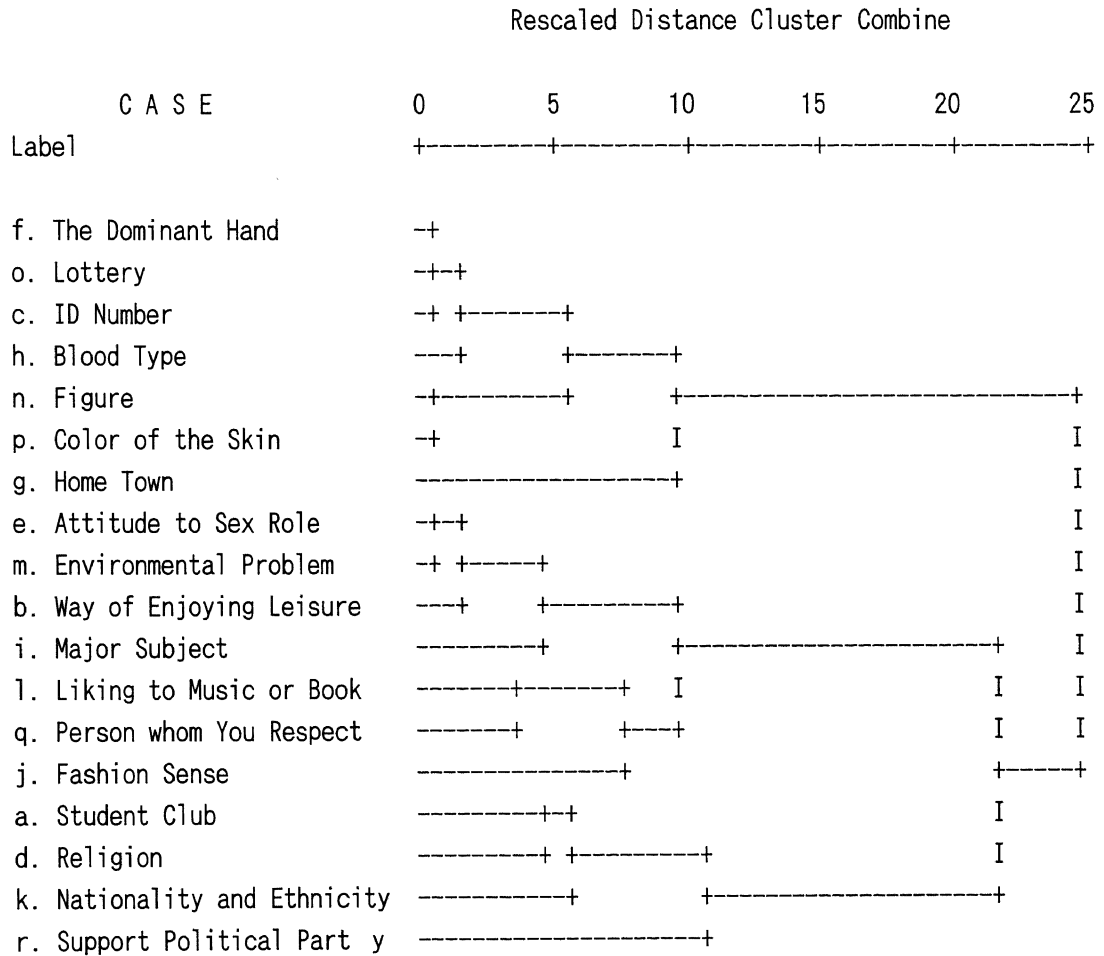


Figure 6.6 Dendrogram by UPGMA clustering, for female

考 察

大学生による評定から、多様な社会的カテゴリーが、「有意味性」の次元および「組織—個人の選好」の次元によってとらえられることが明らかにされた。さらに、これらの次元をもとに、社会的カテゴリーは(a)符号による社会的カテゴリー、(b)価値性に基づく社会的カテゴリー、(c)組織による社会的カテゴリーの3つに分類された。さらに、この分類は、被験者の性別にかかわらず比較的安定

しているものと考えられた。すなわち、男女を別にして分析を行った場合でも、込みにして分析した場合と同様の解釈が可能な成分およびクラスターが得られた。

得られたクラスター間の差異について見ると、「価値性に基づく社会的カテゴリー」は、個人の嗜好や態度・価値観に従い主体的に選択されたカテゴリーであるといえる。これに対し、「符号による社会的カテゴリー」は、むしろ外的に、あるいは、偶然的に与えられた社会的カテゴリーである。そのため、本来構成された社会的カテゴリーに特別な意味があるわけではない。しかし、社会的カテゴリーに基づいた相互作用が行われていく中で、あるいは、カテゴリーに割り当てられたということ自体が、成員にとって何らかの意味を帯びるようになると思われる。「組織による社会的カテゴリー」は主体的に選択された社会的カテゴリー(サークルなど)と外的あるいは偶然的に与えられた社会的カテゴリー(宗教・宗派、国籍・民族など)の両方を含んでいる。他の2つの社会的カテゴリーと異なるのは、集団の規範や地位・役割の分化など、集団の構造が明確化されている点が挙げられる。さらに、「組織による社会的カテゴリー」は、集団の目標や価値や威信によって特徴づけられ、それらの差異によって他のカテゴリーと複雑な関係性を有している。これに対し、「符号による社会的カテゴリー」と「価値性に基づく社会的カテゴリー」は、ある属性を持つ—持たないという共通性に依存した社会的カテゴリーである。この点も、「組織による社会的カテゴリー」と異なる。

本研究の結果の解釈に関しては、いくつかの重要な制限があることに留意しなくてはならない。本研究は、日本の一大学に在学する学生のみを対象としているため、調査対象の特性が結果に反映されている可能性が高い。したがって、結果の一般化には、多様な対象に基づくさらなる調査が必要である。また、本研究では、主に形成された社会的カテゴリーが持つ性質に焦点を当てて分析した。今後の研究では、社会的カテゴリー間の関係性(地位・勢力など)の問題も

第6章 社会的カテゴリーの分類

6.1 社会的カテゴリーの分類

扱っていかねばならないと思われる。

6.2 まとめ

研究1の結果から,多様な社会的カテゴリーは,(a)符号による社会的カテゴリー,(b)価値性に基づく社会的カテゴリー,(c)組織による社会的カテゴリーの3つに分類された. 以後の研究では,研究1で得られた3つのクラスターのうち,「符号による社会的カテゴリー」としてくじ引き(偶然性)を,「価値性に基づく社会的カテゴリー」として社会的態度を用いる. そして,日本人大学生を被験者として,これらの社会的カテゴリーの質的差異が,少数派および多数派集団の集団間差別行動とどのように関連するかを検討する. なお,「組織による社会的カテゴリー」は,典型的には民族や宗教集団があてはまる. 現代の日本社会では,民族や宗教に関する社会的カテゴリーの違いを明確に意識する機会が非常に少なく,これらの社会的カテゴリーはあまり重要な社会問題と結びついていない. また,宗教・民族は社会的カテゴリーとしては重要であるが,リアリティーが高く集団成員性が自明であり,実験操作に適さないということもある. そのため,以後の研究では,組織による社会的カテゴリーについて特に扱わないこととする.